

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

ヤクスギランド

神山小 六年 満園 朔弥

楽しみなヤクスギランド。

着いた。

ぼくは言った。今年のお正月のことだ。あ

客さんが来て、本当は、四人いる弟たちが、

六人になったようだった。

宿泊学習で行ったことがあるヤクスギラン

ドだけど、今回は、特別だ。ハラハラードキ

ドキが止まらない。

もっと上がろう。

たくさんの弟たちが言う。どんどん登った。

うわっ雪だ。

たくさんある。

雪合戦しよう。

みんなのテンションが上がった。キニツキニ

ツ。ゴツゴツ。

くくらえ。

キヤーし。

屋久島に住んでいてよかった。そう思った。

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

雪だるま作ろう。
 できた雪だるまは、思ったより小さかったが
 みえなで協力して作った。
 次は、カーリングがたい。
 レユー。ツルツルツル。
 まさつでしげそうたい。
 でもよくすべるねい。
 弟たちは、楽しそうだった。
 どんどん行くし、シカを見た。
 シカくん何してているのい。
 かおいいねい。
 ヨシヨシ弟たちがシカを家でしていた。
 さるたい。
 今回のさるたい。シカとさるが出ました。屋
 久島の生き物に出会って、感動。
 あ天柱石だ。
 高い。
 でかい。
 たしさんの弟たちも屋久島のシンボルに出
 会えて、両合戦をむすびました。屋久杉、コン
 最高。

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

